

募集

医師 看護師 ヘルパー

健友會 電話 03-3387-3051

健友

第97号 2015年9月号

発行 社会医療法人社団健友会
中野・杉並健康友の会
〒 164-0001 中野区中野 5-44-3
TEL 03-3387-3051 FAX 03-3388-1381
編集 「健友」編集委員会
ホームページアドレス www.kenyu-kai.or.jp/

戦争の時、私は女学生で女子挺身隊の一人として、西荻の中島飛行機工場に、疎開先の茨城県小山から通勤していた。昭和20年5月26日。この日も出勤、一番列車に乗る。赤羽駅についたが、前夜の空襲のために列車は運転中止。線路の上を歩く。西荻の工場めざしてひたすら歩く。つまずいた。黒く赤い人間の足。むしろをかぶせただけの死体が、焼けた町のあちこちに放置されたまま。それでも、歩く。

後ろから私を追い抜いた人が、突然四つん這いになり、鉄橋を渡つて行く。私は下駄と足袋を脱ぎ、下駄は救急袋に入れた。足袋はふとこころに入れられた。大きく息を吸い込んだ。線路に四つん這いになると、焼け焦げて炭のようになつた枕木を1本1本撫でて進む。震えは止



昭和13年、中野駅での出征兵士の激励壮行(中野区役所所蔵)



なんどが半壊状態で、傾いたり土壁も落ちたりしていまして。己斐橋を渡り福島町駅に入るとなれば、無残に押しつぶされた瓦礫の山の一帯が続ぎ、その先は焼け跡でまだ熱気で熱く、真つ黒になつた煙

達は土橋付近の建物疎開作業に行つたといふことで、土橋は爆心地から600メートル位のところで、ものすごい熱線と爆風で直接被爆し、結局その月のうちに50数名の全員が死亡してしまいました。

動員先の石田兵器は全壊していましたが、その一帯は奇跡的に焼けていませんでした。8月6日

その月のうせ

安保法案の審議が始まりました。その内容は手続きが「違憲」「立憲主義に反する」と国民の大多数が反対を表明している▼国会周辺では市民による抗議行動が連日展開され、学者、文化人、若者、学生や「ママの会」まで広がりを見せており、この間安倍首相が国民に説明するとして繰り返してきました例え話「大切な友人（アメリカなど）の家が火事になつた時、駆けつけ一緒に消火活動をする。これはあたりまえのことであり、普段から協力して防火活動にあたることが重要なことです…」▼何だか怪しい…今回の法案の主旨は消防活動ではなく、「火をつけた奴」をやっつけに行くことに「加担」するのであり、「火をつけそうな奴」を一緒に攻撃できるようになることではないのか▼戦後の日本は「不戦の誓い」のもとに、国際的な紛争には平和的解決のために努力してきたし、その姿勢が世界から信頼されてきたはずである▼戦争に加担すれば後戻りできなくなる。(み)



月1回のメンテナンスをかかさない小泉好子さん

多くの人々が、歯がそれほど重要な役割を果たしていることに気づいていないようです。

歯は無くなつたりその価値がわかります。しかし、それでは遅いのです。

いつまでもおいしいものを食べ続けるための元気な歯は、日々の手入れから。

歯のメンテナンスに力を入れておられる川島診療所歯科から素敵な笑顔をお届けします。

笑顔のとても素敵な小泉好子さん(89歳)は、2年前から月に一度、診療所内科の受診日に息子さんに付き添われてメンテナンスに通院されていました。

「この年で表彰、すじく嬉しい」

8020運動は、生みを味わえるようにとの願いをこめて、80歳になつて20本以上自分の歯を保とうと、厚生省(当時)と日本歯科医師会が1989(平成元)年から推進している運動です。

日本人の平均寿命は男性80歳、女性86歳となり、男女ともに80歳を超えてきました。歯の本数

●認知症になりにくい
●歯が多いほど

8020達成者31人!!

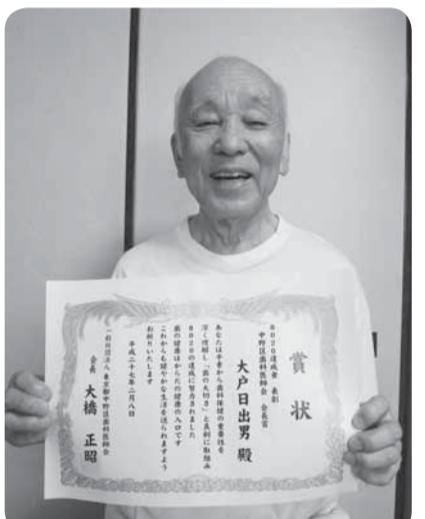
川島診療所歯科 事務長 菊地陽子

歯は感度のいいセンサーであり、脳と直結している重要な出発点です。ところが多くの人々が、歯がそれほど重要な役割を果たしていることに気づいていないようです。

歯は無くなつたりその価値がわかります。しかし、それでは遅いのです。いつまでもおいしいものを食べ続けるための元気な歯は、日々の手入れから。歯のメンテナンスに力を入れておられる川島診療所歯科から素敵な笑顔をお届けします。

自分の歯で“食べる楽しみ”を味わう

が多いほど長生きだ、医療費が少なくすむ、認知症になりにくいといった健康寿命を延ばすデータも出されています。私たちも、みなさんがこれからも健康でいきいきとした生活が送れるよう、お手伝いしていきます。



表彰状を手に大戸日出男さん。「機関紙『健友』の配達もしてますよ」と笑顔です

介護保険Q&A

住宅改修について

Q 最近いすから立ち上がるのが大変になり、どこかに拘まりたくなってきました。平らな居室で転倒したこともあるのですが。

A 介護保険を利用し住宅改修が行えます。

介護保険制度では、要支援1・2、要介護1~5に認定され、身体の状況と住宅の状況に対して必要と認められた場合に、改修時に住んでいる住民登録地の住居に対し区市町村から住宅改修費が支給されます。

●住宅改修の項目

1.手すりの取り付け

廊下、階段、トイレ、浴室、室内、玄関など、家の中に設置する手すりのほか、外へ出るための外構手すりにも適用されます。

2.床段差の解消

小さなスロープを付けて段差を解消。廊下や浴室全体の床

位置を上げたりすることで段差を解消する場合も。

3.滑り防止及び移動の円滑化等のための床材の変更

4.引き戸等への扉の取り替え

5.洋式便器等への便器の取り替え

その他1~5に付随して必要となる工事も、介護保険の対象となります。

●給付金額

介護保険では、要支援1・2の人も、要介護1~5の人も住宅改修のための給付は共通で、上限20万円までの1割または2割に当たる金額が、自己負担となります。

ただし、住宅改修は事前申請制度ですので、改修工事を行う前に必ず区市町村の介護保険担当部署に申請をしなければなりません。先に工事をしてしまうと、全額自己負担になります。

注:各自治体によって手順、支払方法に違いがありますので、ケアマネジヤーや地域包括支援センター、区市町村の住宅改修担当者に確認をしてください。



すなつぶ & すなつぶ 病院・診療所・友の会

今年度のスローガンは、地域から癌を失くす!です。地域の方に何でも相談会



7月23日、杉山公園集合。杉山から歩いてきた人達と合流し新宿まで。声を上げ、歌を歌い、手を振って。沿道のたくさんの人の笑顔、誘導警察官も笑顔。暑かった、疲れた。でも気分は爽快!



7月23日、仕事の合間をぬつて、桃井診療所

熱い暑い平和大行進
桜山健康友の会

映画鑑賞会
天診健康友の会

6月より毎月開催し、まもなく100回を迎えるとしています。毎回、10数人が参加し楽しんでいます。8月は平和映画会で「少年H」を鑑賞しました。(犬山)

健診を受けてもらいたい。そのためには診療所を知ってほしい。そんな思いから毎月第2水曜の午後、西荻窓駅近くの書店で、医療、介護に関する「なんでも相談」を行なっています。レモンを多めに入れるのがおいしい」と、試飲した方達から早速声があがりました。(池田)

6月の健康講座「熱中症予防」には10人の会員さんが集まり、「やまと」では講師初めての松本師長が、熱中症予防ジュースを作つてみました。レモンを絞り、お砂糖と塩を少々でカンタンに作れます。「レモンを多めに入れるのがおいしい」と、試飲した方達から

注:各自治体によって手順、支払方法に違いがありますので、ケアマネジヤーや地域包括支援センター、区市町村の住宅改修担当者に確認をしてください。

熱中症予防ジュース作り
やまと健康友の会

毎月第2水曜日は
なんでも相談会
みなさまのお悩みは
医療・介護・福祉のプロに
ご相談ください
場所:信愛書店スペースer=erawawa
時間:午後2時~4時
主催:西荻窓駅前商店街連合会
西荻窓駅前商店街連合会
西荻窓駅前商店街連合会
西荻窓駅前商店街連合会

